



## 6、7月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！ サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の6、7月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金30万円が贈られます。

### ～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

**西浦 直亨**  
(東京ヤクルトスワローズ)  
初受賞

西浦選手は、6月25日(木)神宮球場で行われた対阪神タイガース3回戦、1点を追う9回2死1、2塁の場面で左翼席へ値千金の代打逆転サヨナラ3点本塁打を放ち、チームに劇的な勝利をもたらした。

東京ヤクルト高梨投手、阪神秋山投手が先発したこの試合は7回を終わって0対0の投手戦となった。均衡を破ったのは阪神梅野選手。8回表、無死フルカウントからレフトスタンドへ今季1号となる先制本塁打を放った。迎えた9回裏、阪神は守護神藤川投手をマウンドに送り逃げ切りを図るが、東京ヤクルトは四球と安打で2死1、2塁のチャンスを作ると、高津監督は井野選手の代打として西浦選手を送った。無観客で静寂に包まれる緊迫した場面で2球目の直球を強振すると打球は左翼席へ飛び込み、チームの5割復帰を決める値千金の一打となった。サヨナラ本塁打は自身初、代打逆転は球団にとって2010年川本選手以来、10年振り5人目の快挙。

### ～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

**A. ロドリゲス**  
(オリックス・バファローズ)  
初受賞

ロドリゲス選手は、7月10日(金)京セラドーム大阪で行われた対北海道日本ハムファイターズ4回戦、2点ビハインドで迎えた9回裏2死1、2塁の場面で左翼席へ劇的なサヨナラ3点本塁打を放った。

オリックス打線は北海道日本ハム先発有原投手に7回まで2安打無得点に抑えられるが、8回に代わった宮西投手から失策絡みで1点を返す。

2点ビハインドの1対3で迎えた9回裏、北海道日本ハムの守護神秋吉投手が2死から連続四球を与え、この試合最大のチャンスがオリックスに巡ってくる。この場面で打席には新外国人ロドリゲス選手。カウント1-2からの4球目を強振すると、快音と共に白球が弾丸ライナーで左翼スタンドに突き刺さった。お釣り無し、起死回生の豪快な1発でチームを今季初のサヨナラ勝利に導いた。頼れる新助っ人の劇的な一打はチームメイトのみならず、今季初めてスタンドで見守ったファンを熱狂させた。

月間「スカパー！ サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。





Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！ サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柿田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (ヤクルト)	B.レアード (日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島)	B.レアード (日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (DeNA)	B.レアード (日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鶴久森 淳志 (ヤクルト)	聖澤 諒 (楽天)
5月度	荒木 貴裕 (ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (ヤクルト)	J. アマダー (楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
9、10月度	安部 友裕 (広島)	A.デスパイネ (ソフトバンク)



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp

ココロ動く、未来へ。  
スカパー!

(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！ サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂 (広島)	森 友哉 (西武)
5月度	山下 幸輝 (DeNA)	清田 育宏 (ロッテ)
6月度	山田 哲人 (ヤクルト)	上林 誠知 (ソフトバンク)
7月度	下水流 昂 (広島)	山下 斐紹 (楽天)
8月度	鈴木 誠也 (広島)	Y.グラシアル (ソフトバンク)
9、10月度	上田 剛史 (ヤクルト)	中島 宏之 (オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	青木 宣親 (ヤクルト)	中田 翔 (日本ハム)
5月度	高山 俊 (阪神)	辰己 涼介 (楽天)
6月度	原口 文仁 (阪神)	鈴木 大地 (ロッテ)
7月度	Y.ソラーテ (阪神)	中村 剛也 (西武)
8月度	石川 慎吾 (巨人)	清田 育宏 (ロッテ)
9、10月度	N. ソト (DeNA)	E. メヒア (西武)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月度	西浦 直亨 (ヤクルト)	A. ロドリゲス (オリックス)
8月度		
9月度		
10、11月度		

(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2015年度	雄平 (ヤクルト)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
2018年度	下水流 昂 (広島)	森 友哉 (西武)
2019年度	高山 俊 (阪神)	鈴木 大地 (ロッテ)

